

丸岡観光ボランティアガイド広報誌

# お天守だより

第3号

## 自由研究コンテストに協賛

丸岡城国宝化市民の会では本年度から小中学校生徒を対象に丸岡城自由研究コンテストを創設し、作品を募集し、ボランティアガイド協会もこの事業に協賛しました。夏休み中に市内の小中学生が城に訪れて絵をかいたり、メモをとったりする姿が目につきました。

最終的に二百五十人から作品が寄せられ、九月十四日に審査会が行われました。その結果、丸岡中学校二年倉本みさきさんの壁新聞が最優秀賞に選ばれました。丸岡城の歴史や、天守の構造、城下町のつくり、伝説など実に幅広い分野にわたって調べた様子が伺われ、絵や写真などでわかりやすく表現されたとても立派な作品です。その他、優秀賞として



五人の作品が選ばれ、同月二十一日に表彰式が行われました。優秀作品は日本城郭協会が主催している「全国城の自由研究コンテスト」に出品されます。

## ガイド活動いろいろ

副会長 大霜徹夫

坂井市が丸岡城支援に立ち上げた独自のふるさと納税システム「百口城主」のPRイベントが八月に東京で開かれ、講師として丸岡城の良さをアピールしました。十一月には御成ツアーも実施され、各地から訪れた「城主」たちに本物のお天守を見て頂きました。

同月、全国の城好き人間約九千人を団員とした情報サイト『攻城団』の第三回全国総会が丸岡城で開催され、参加した三十名のお城マニアに丸岡城の魅力をつぶり味わって貰いました。

丸岡城の国宝化に向け四年をかけた調査で、現在のお天守は江戸初め寛永期の建築と発表されました。これまで日本最古と説明してきたので当初戸惑いましたが、観光客はそんなに気にしていない感じで、寧ろ誕生日がはつきりしたこと、日本一の魅力満載の丸岡城の国宝化は近づいたと期待しています。



## 研修旅行レポート

高岡ひとみ

年に一度日帰りで研修旅行を行なっています。行き先は主にお城で、ガイドの方を予約しお城とガイドテクニクの両方を学ぶものです。令和元年の今回は大聖寺城↓鳥越城↓白峰温泉と行った時計回りのルートでした。

十月二十五日(金)小雨の一筆啓上茶屋前に集合、大聖寺へ向かいました。大聖寺城は、「太平記」の中に初めて記されており、古い時代から存在していたそうです。その後、加賀一向一揆の拠点となったり、前田利長に攻められたりと、度重なる合戦の舞台となりました。一国一城令で廃城となり、天守閣も石垣もすべて壊され、人々の立ち入りを禁止した「お止め山」となったため、自然豊かな場所となりました。

散策コースのマップもあり、山城の遺構を感じることができました。途中クルミの実を見つけ収穫もありました。次に白山市「鳥越一向一揆歴史館」に向かいました。北陸における「百姓の持ちたる国」が百年の長い間、強い信心の力で時代を動かした所です。展示物を見ながら一つひとつ説明して頂きました。その後、城跡の登り口に向かいましたが、麓の県道から城壁までの山道は数週間前の台風の影響でバス

では上がりず徒歩で山登りのように、坂を上っていきました。日頃の丸岡城の階段で鍛えているせいか(笑)、全員快調に歩を進めました。頂上付近に本丸門が待っていてくれて、山城に着いた！と実感しました。遺構の柱の跡や表示があり、当時の様子を想像することが出来て、楽しい時間となりました。

最後は白峰温泉の町並みを散策し、その林西寺を参拝しました。白山信仰に関する仏様を拝み、住職の興味深いお話を伺いました。白山は天台宗の修行の場であり、泰澄大師にもお会いできて、ありがたかったです。

実際のガイドでは丸岡城以外の周辺のお城や観光地も話題に上がるのでこのような研修旅行はとても参考になります。



(鳥越城址での記念撮影)

ガイド体験談

丸岡城の素晴らしさ

宮地健一郎

私は丸岡城のボランティアガイドになつて未だ年数が浅く、遠方より丸岡城に来ていただく皆様に満足はいくガイドが出来ていないと思っています。

私が丸岡城のボランティアガイドになりたいと思ったのは丸岡城の歴史・知識よりも「丸岡城の姿・かたちの素晴らしさを日本全国の人々に知って欲しい」ただその一人でした。日本にこんな美しい素晴らしい歴史を持った城が存在していることを知って欲しかったからです。特に西の方からの眺めはすばらしいと思います。子供の頃から眺めていた丸岡城がNHKテレビの「最強の城」で放映された時は涙が出そうでした。これからも丸岡城の素晴らしさを皆様にお伝え出来たらよいなあと思います。



ガイド活動の「褒美」

前原正一

丸岡城の入場券売場前は、観光客が先ずここへ券を買い求め列になるところです。我々ガイドはその人達案内所内の紹介ビデオいかがですか？等とお声掛けをしています。色々なちよつとした出会いの場でもあります。

十月一日の券売所前ことです。ご家族で来られた女の子と目が合い自分の方からハイタッチしました。その後天守へ行かれ、その子は「みつつ」と言っていたので階段は無事に上れるかと思いつつ、そうこうしているうちに戻って来られ女の子は券売所前にいる私を見るや否や駆け寄り今度は両手ハイタッチ。そして間を置かず「スタンプ、スタンプ」と叫んで案内所に入ってきたのです。「そっかママが言うんだ」と私が言うとママはくすくすと笑みを。ハイタッチとスタンプ、この何気ない2コマで私の胸は弾み、今も思い出します。ガイド活動のご褒美かも。



丸岡城ガイド「ほれ話」

水野信好

丸岡城天守の石垣付近に十月末頃、黄色いツワブキの花が咲きます。このように保たれているのはシルバーの方が草刈りなど丁寧になされているからです。もうすぐ冬というこの時期、ガイドしながらの楽しみになっています。ボランティアガイド協会では観光客からよく尋ねられる質問をQ&A集にしてガイドに活用しています。製本にし、



タイトルは親しみを込めてその「ツワブキの花」としています。今後その中からいくつか紹介したいと思っています。一回目は日本最古のことです。

①丸岡城は日本最古の天守ですよね？

皆さんから最古のお城ですと聞かれたら、少し気を使いますが、現存する日本最古の天守と公表しているところは他に犬山城と松本城があるからです。(失礼ながら)外見上判断して一般の人なら「そうです」とすぐ答えています。質問めいた感じのときには、その前にその人の出身地をさりげなく聞き愛知県、長

県の人ならこれもさりげなく犬山城や松本城でも最古と言っていますよね。と。

ガイドをしていてその最古が多少クレームになることがあります。現実的に、それぞれのところでは今さら最古の看板を下ろすことはできませんから、語り合いながら相手を尊重できたらと思います。

以下が公表している年代順に、ホームページから文言を抜き取って表にしたものです。多少言い回しが違うというのが感想ですが、このように最古と表明しているところがあることから、ボランティアガイドでここだけが本当の最古と決めつけられないように注意しなければなりません。

	【犬山観光協会ホームページ】・犬山城は豊臣秀吉が生まれた天文6年(1537)、織田信長の叔父である織田信康によって創建された、現存する日本最古の木造天守閣です。
	【坂井市丸岡観光協会公式サイト】・国重要文化財 日本最古の天守閣 <sup>※1</sup> ・丸岡城は、現存天守閣では最古の建築様式を持つ平山城で、...。戦国時代の天正4年(1576)一向一揆の備えとして織田信長の命により柴田勝家が塙の勝豊に築かせました。
	【松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」】・文禄(1593~1594)年間に建てられた五重六階の天守としては日本最古です。幾たびかの存続の危機を、市民の情熱により乗り越え、四百年の風雪に耐え、戦国時代そのままの天守が保存されています。

※1ちなみに日本最古の天守閣の文言は現在削除されています。